



健康と温泉フォーラム 第62回月例研究会のご案内

- 主催：NPO法人健康と温泉フォーラム 地域活性学会
NPO法人日本スパ振興協会
- 日時：2016年4月25日(月) 13:30~16:30
(受付13:00から)
- 会場：東京文化会館4階中会議室 (JR上野駅公園口前)
- テーマ：「アロマセラピーと認知症の予防・改善について」



- 講演者：塩田清二 (星薬科大学先端生命科学研究所先導研究センター特任教授、医学博士)

昭和49年 早稲田大学教育学部生物学科卒業 (理学士)、昭和51年 新潟大学理学研究科修士課程修了 (理学修士) 昭和58年 医学博士 (昭和大学)、昭和51年 昭和大学医学部第一解剖学教室助手、昭和58年 同教室講師、平成9年 同教室准教授、昭和平成11年4月~平成27年3月 昭和大学医学顕微部解剖学教室主任教授、平成27年4月~現在 星薬科大学先端生命科学研究所 ペプチド創薬部門特任教授 平成13年~現在 米国チューレン大学医学部兼任教授、VIP/PACAP およびRegulatory Peptides 国際学会理事、日本アロマセラピー学会理事長、日本統合医療学会顧問、日本糖尿病・肥満動物学会名誉会員、日本肥満学会評議員、平成26年 日本糖尿病肥満動物学会学会賞 (米田賞) 受賞、Peptides, J Molecular Neuroscienceなど多数の海外雑誌の編集委員、現在まで国際雑誌掲載論文は500編を超える。

■ 講演レズメ

「匂い」が記憶を呼び覚ます効果のあることはよく知られています。最近の研究によって、この効果は科学的に解明されつつあります。私たちのラットの脳内反応をfMRIで観察した実験においても、嗅細胞から伝わった信号が嗅皮質を経て、さらに海馬を活性化することが認められました。海馬は直近から過去2年ぐらまでの近い過去の記憶(短期記憶)を蓄積する部位です。また海馬を通じて、「匂い」の情報は脳に伝って格納されます。つまり、「匂い」の情報(記憶)は脳のあちこちに格納されており、「匂い」刺激によって、過去にあった出来事を瞬時に引き出す作用があると考えられます。また記憶を思い出す回数が多いほど神経経路が強固になり、より正確に思い出すことができると考えられます。

アロマセラピーの香りを嗅ぐことによって免疫機能の向上や精神安定作用、あるいは記憶の神経回路の調節など、ヒトの健康のみならず社会行動にも嗅覚情報は深く関与すると考えられます。さらに嗅細胞の神経再生の本質的理解が進めば、嗅覚障害の予防・治療法の開発、脳や脊髄の神経再生医療にもつながると考えられます。今後、認知症あるいはパーキンソン病などの精神神経疾患の予防や改善にアロマセラピーが役立つことが期待されます。

参考文献：「<香り>はなぜ脳に効くのか アロマセラピーと先端医療」塩田清二著
(NHK出版新書) 2012刊



■プログラム (予定)

1300	受付
1330~1445	講演
1445~1500	休憩
1500~1600	ディスカッション 質疑
1600~1630	まとめ 閉会



■定員 40名

- 参加費 2,000円 (健康と温泉フォーラム、地域活性学会、日本スパ振興協会各会員)
3,000円 (一般) 当日受付でお支払いください。
無料 (学生・報道)

■お申込み・お問い合わせ

NPO法人健康と温泉フォーラム事務局までE-mailまたはFAXにてお申込みください。定員先着40名とさせていただきます。

E-mail info@onsen-forum.jp TEL&FAX 03-6804-8575

E-mail info@onsen-forum.jp Fax 03-6804-8575

NPO法人健康と温泉フォーラム事務局宛

参加申込書 (各□に✓をお願いします)

- 第62回月例研究会 (2016年4月25日 (月)) に出席します。

●お名前 (複数可)

●団体名

●住所 〒

●連絡先 TEL
E-mail

FAX
携帯☎